

図書館通信

静岡大学附属図書館報 NO.169 2017.4

目次 ■巻頭言 ■浜松分館改築・改修工事期間中の図書館の利用について ■静岡大学学術リポジトリ（SURE）
でご著作論文をオープンアクセスに！ ■図書館ギャラリー企画展報告 ■図書館利用学生モニター活動報告
■教員等著作寄贈図書一覧 ■図書館の動き ■図書館開館日程〔2017年4月～9月〕

〈巻頭言〉

植物の本



館長 澤田 均

新入生の皆さん、ようこそ静岡大学へ。そろそろ学生生活に慣れた頃と思います。今日の図書館利用セミナーをきっかけに、これから大いに図書館を利用してください。2年生以上の皆さんも引き続きよろしく。

さて、私は植物の生態を研究しています。そこで、これまでに会った「植物の本」を3冊紹介しましょう。1つ目は堀田 満さんらの『世界有用植物事典』。初めて見たとき、こんなにも多くの植物が利用され、それぞれ長い歴史があることに驚きました。採種・栽培から加工まで何と手間暇がかかり、高度な技を要することか。普段何気なく利用しているものが、どれも長い時間をかけてできたもの、先人の努力の賜物という当たり前のことに気づきました。そういえば、本書の（紙の）原料も植物でした。

この事典は約1,500ページもありますが、これ

でも要点の解説にすぎません。1つ1つのディテールを収録しようとする、何分冊あっても足りないでしょう。新たな情報も蓄積しています。特にゲノム研究の貢献は目覚ましい。例えば、日本の畜産を支えるトウモロコシ。本書の7年後（1996年）、遺伝子組換えトウモロコシ（Bt コーン）の商業栽培が始まりました。そして現在、ゲノム編集という新たな技術によるワキシコーンが開発中で、いずれ加工食品の乳化剤や食品以外の用途に使われるようです。一方、古いトウモロコシのゲノムも研究されています。最近、5,300年前の地層から出土したトウモロコシ穂軸のゲノムが一部解読され、当時のトウモロコシがどんな姿かたちであったか、推定されました。このようにトウモロコシのような重要作物では大量の情報が蓄積されていきますが、その一方で、ほとんど利用されなくなった植物は忘れ去られていきます。アントロポセン（人新世）とも呼ばれ、人間活動による変化が急速に起こっている中、そのような植物のことも詳録しておくことは大切な作業でしょう。

2つ目は盛口 満さんの『植物の描き方—自然観察の技法Ⅲ』。一流の教育者であり、多くの一般向け自然科学書の著者。というより、第1に好奇心が旺盛すぎるナチュラリストと紹介すべきでしょう。そんな著者だからこそできた、植物を深く知るための素敵な本です。植物スケッチの極意を、盛口さんが伝授してくれます。その極意とは、「植物スケッチの基本はウソをつくという点にかかっている。」「ウソのつき方のポイントは以下の3点である。1. ウソは、はっきりとつく 2. ウソのつき方をうまくする 3. ウソはつき

とおす」、「なお、もっとも大事な心がまえは「描きたいものを描く」・・・」。なかなか刺激的な文章ですね。この真意は、本書を読んでお確かめください。

極意だけでなく、内容も刺激的です。例えば、リスはほとんどドングリを好まない、最近のAPG分類体系によると、ウキクサはサトイモ科の仲間、水辺暮らしに特殊化したサトイモがウキクサである・・・どのページも面白いですが、「果物スケッチ」には驚きました。果物がもともと誰に食べられ、種子を散布していたのか。盛口さんはタヌキのため糞（1ヵ所に糞をする習性がある）の中の見なれぬ種子を、南米原産のポポーのものと鑑定します。ポポーの果実は哺乳類散布で、絶滅したメガ・ファウナ（大型動物）が種子を散布していたという説に思いを馳せます。そして、アボガドも絶滅したオオナマケモノが種子散布していた・・・と続きます。

3つ目は岩槻邦男さんの『新・植物とつきあう

本』。岩槻さんは著名な植物分類学者で、こどもの周囲にいる大人、父親、母親、祖父母に向けて書かれた本です。将来そうなるであろう皆さんにも有益でしょう。私が本書を読んだきっかけは、四ツ葉のクローバー（シロツメクサ）が出てくるからです。四ツ葉のクローバーは見つかるけれど、四ツ葉のクズ（葛）は見たことがないと。気になって、クズを見かけると観察してみますが、まだ四ツ葉を見たことはありません。こんなことでも結構楽しいものです。

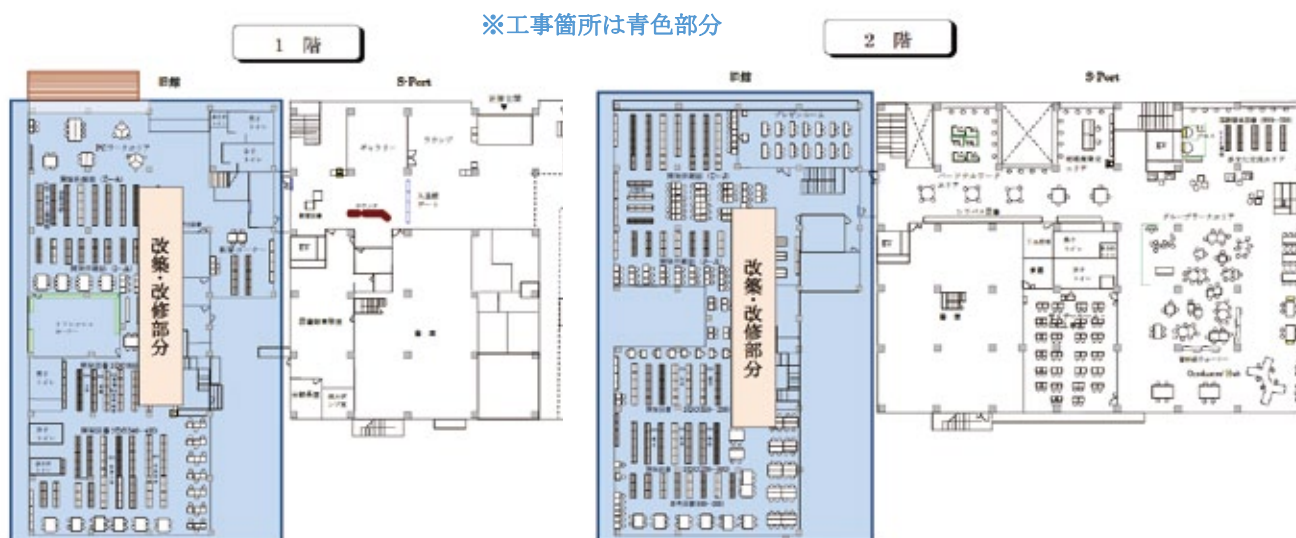
ビワの木を見かけると、まど・みちおさんの詩の一節を思い浮かべます。「びわは／やさしいきのみだから／だっこ しあって うれている／うすい 虹ある／ろばさんの／お耳みたいな葉のかげに」。こども向けというより、むしろ日々苦勞している大人向けでしょうか。リフレッシュになります。皆さんも1日10分間は自然を見つめながら、大いに勉学に励んでください。図書館がしっかりサポートします。

＜浜松分館改築・改修工事期間中の図書館の利用について＞

浜松分館は、平成29年3月中旬より旧館の改築・改修工事を行っており、平成30年6月頃に新館オープンとの予定です。この工事に伴って、閲覧室の図書や雑誌を書庫に移動しました。このため、OPAC（蔵書検索）で配架場所が「分館開架」と表示される資料については、書庫に入庫して利用していただくことになりますのでご注意ください。なお、新聞と新着雑誌は、書庫ではなく、2階開架書架にあります。

また、工事期間中、既存の書架や閲覧机等を保管するため、3階交流サロン、2階南側閲覧スペース、1階ギャラリー等が利用できなくなります。

以上のとおり、工事期間中は浜松分館の利用に際してご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



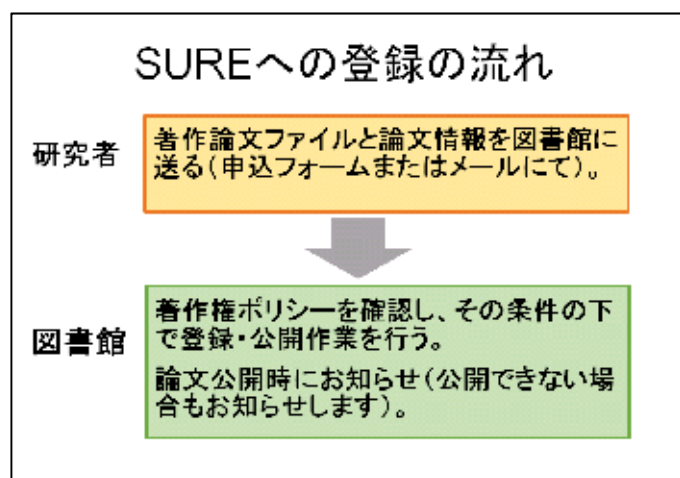
新館には、2つのグループ学習室と4つの個人ブース等を設置する予定です。さらに新しく機能強化される浜松分館に、どうぞご期待ください。

＜静岡大学学術リポジトリ(SURE)でご著作論文をオープンアクセスに！＞

静岡大学学術リポジトリ(SURE)では、静大研究者のみなさまが書かれた学術雑誌掲載論文の本文をインターネット上で無料公開しています。この取り組みは、静大でどんな研究が行われているかという広報になるとともに、ご著作論文の可視性を上げ、より多くの方に論文を読んでもらうことができますようになります。(Google 等の検索サイトから検索可能になります。)

登録作業等はすべて図書館で行いますので、研究者のみなさまは、ご著作論文がアクセプトされました、そのWORD ファイルと論文名、著者、掲載誌名、巻号、ページの情報を SURE サイトの申し込みフォームから図書館にお送りいただくだけで結構です。同情報を担当宛メールでお送りいただいても構いません。

図書館職員が各ジャーナルの著作権ポリシーを確認し、条件に沿った形で登録・公開します。(公開できない場合もありますが、その際は報告しますので、まずは全てお送りください。)



オープンアクセスの考え方は、学術雑誌の購読価格の高騰に対し世界の研究者たちが声を上げたもので、学術情報流通の改善のために、①オープンアクセスジャーナルに投稿するか、②自分達が書いた論文をセルフアーカイブして、誰もが読めるようにしよう、というものです。

SURE は、この②の方法をとる静大研究者のみなさまへのインフラを大学として整備したもので、平成19年度から運用しています。

不明な点は、担当までお気軽にお問い合わせください。

図書館では、現行システムの機能に加えて、論文ごとの利用統計機能やデータ出力機能を備えた、新しいリポジトリシステムへの移行を検討中です。ぜひご期待ください。

【学生のみなさんへ】

学生のみなさんも勿論、SURE で無料公開している論文を読むことができます。所属研究室を決める際等に活用してはいかがでしょうか。

学術リポジトリ(SURE)担当:

学術情報部図書館情報課 電子情報係

Tel: 内線 4477

E-mail: reposit@adb.shizuoka.ac.jp

＜図書館ギャラリー企画展報告＞

平成 28 年度に開催された図書館ギャラリー企画展を紹介します。図書館ギャラリーは、本学学生・教職員の学習・研究成果の発表の場として設置しています。カウンターで申込みができます。お気軽にご相談ください。

【静岡本館ギャラリー】

	開催期間	企画展名	主催
第 1 回	2016 年 7/1～7/15	わたしたちの選挙	人文社会科学部政治思想演習
第 2 回	10/11～10/28	「現代を生きるモジュール」展 静岡/東京	農学部学生とアーティスト
第 3 回	11/2～11/16	スキ・キライ展	教育学部美術 学生
第 4 回	11/19～11/20	【キャンパスフェスタ企画】 人型ロボット Pepper と触れ合おう	情報基盤センター
第 5 回	11/30～12/6	大須賀の文化を繋ぐもの	人文社会科学部文化人類学コース
第 6 回	12/9～12/21	性の多様性の世界	LGBT サークル「grandiose」
第 7 回	2017 年 1/11～1/18	三感展	教育学部美術 学生
第 8 回	1/24～1/31	静岡の教育—ICT 教育・防災教育・安全教育・コンテンツシー・学校内連携—	教育学研究科「中等教育の総合研究」受講生
第 9 回	2/1～2/15	本との出会い展	「物語」を考える会
第 10 回	2/24～3/16	Hapital Project	教育学部美術科 有志

【浜松分館ギャラリー】

	開催期間	企画展名	主催
第 1 回	2016 年 4/8～4/21	静岡大学美術部(浜松キャンパス)展示会	静岡大学美術部(浜松キャンパス)
第 2 回	9/30～10/19	静大浜松モデラーズクラブ 2016 年作品展	静大浜松モデラーズクラブ
第 3 回	10/21～11/16	いつの時代も写真だった‘ 16	静岡大学写真部(浜松キャンパス)、浜松工業会
第 4 回	11/21～11/29	2016 年度情報学部博物館実習企画展示 「身近に感じる日本の美—掛け軸・茶碗に触れよう」	高松研究室
第 5 回	2017 年 1/16～1/27	SSSV(海外研究室交流プログラム) 成果展示会	工学部・情報学部
第 6 回	1/31～2/20	性の多様性の世界	LGBT サークル「grandiose」

〈図書館利用学生モニター活動報告〉

図書館利用学生モニター(以下「モニター」といいます)による、平成 28 年度の活動状況を紹介します。図書館の運営・選書・サービスに関心がある学生のみなさん、モニターになりませんか？参加可能な活動のみの参加も OK、新しい活動の企画も OK です。お気軽にカウンターにご相談ください。

モニター会議

館長、分館長が主催する会議です。モニターと館長又は分館長、図書館スタッフの間で様々な意見が交わされました。モニターから出された意見、要望などを図書館の運営に活かしていきます。



静岡本館

浜松分館



七夕の笹飾り

モニターと職員で、電子工学研究所横の竹林から竹を切り出し、七夕の飾りつけを行ないました。七夕飾りはギャラリーに置き、短冊とペンを用意して一般の学生にも参加してもらい、たくさんの短冊が下がりました。皆さんの願い事が叶いますように！



緑のカーテン

夏、ハーベストルームの南側に緑のカーテンを設置しました。ゴーヤ、風船かずら、朝顔が元気に育ちました。皆さんの目を楽ませるとともに、館内の省エネルギー化に貢献しました。



モニター選書

モニターが書店に直接出かけて、学生用図書を選書しました。学生に読んでほしい幅広い分野の図書が選ばれました。選書後は、推薦の言葉を添えて展示しています。是非ご利用ください。



ポップ作成講座

モニターがお勧めする本の POP(ポップ)を職員と一緒にコツを学びながら作成しました。できあがった POP は大人気で、展示した本はほとんど貸出状態となりました。



＜教員等著作寄贈図書一覧＞

この度は著作物をご恵贈していただき誠にありがとうございます。
図書館では学内出版物及び学内関係者が執筆した図書を収集しています。
今後も著作を刊行された際には是非ご恵贈くださるようお願いします。
(寄贈図書一覧は館別、著作者のお名前の五十音順に配列しています)

●静岡本館受入

◇浅利一郎（人文社会科学領域）

- ・地域間産業連関分析の理論と実際（静岡大学人文社会科学部研究叢書 53）[日本評論社]〈著者〉
静・開架、書庫【331.19/A88】

◇阿部圭一（名誉教授）

- ・明文術 [近代科学社]〈著者〉 静・開架【816/A12】

◇大藺正彦（人文社会科学領域）

- ・ドイツ語を考える [三修社]〈執筆著者〉 静・開架
【840.4/MI21】
- ・Deutsch aus ferner Nähe [Stauffenburg Verlag]
〈執筆著者〉 静・書庫【840.4/N52】
- ・Wie gleich ist, was man vergleicht?
[Stauffenburg Verlag]〈執筆著者〉 静・書庫【361/024】

◇大野旭（人文社会科学領域）

- ・中国文化大革命と国際社会 [静岡大学人文社会科学部・アジア研究センター]〈編著者〉 静・開架
【222.077/Y72】
- ・反右派闘争から文化大革命へ（内モンゴル自治区の文化大革命 8）[風響社]〈編著者〉 静・開架
【312.227/Y72/8】
- ・逆転の大中国史 [文芸春秋]〈著者〉 静・開架
【222.01/Y72】
- ・モンゴル人の民族自決と「対日協力」[集広舎]
〈著者〉 静・開架【312.227/Y72】
- ・フロンティアと国際社会の中国文化大革命
[集広舎]〈著者〉 静・開架【222.6/Y72】

◇小和田哲男（名誉教授）

- ・東海の戦国史 [ミネルヴァ書房]〈著者〉 静・開架
【210.47/093】

◇笠原順三（防災総合センター）

- ・Time lapse approach to monitoring oil, gas, and CO₂ storage by seismic methods
[Gulf Professional Publishing]〈著者〉 静・書庫
【568/J96】

◇狩野謙一（防災総合センター）

- ・伊豆半島南部のジオガイド [山と溪谷社]〈編著者〉
静・開架【453.8/KA58】

◇川瀬憲子（人文社会科学領域）

- ・東日本大震災復興の検証 [合同出版]〈執筆著者〉
静・開架【369.31/H55】

◇熊倉啓之（教育学領域）

- ・フィンランドの算数・数学教育 [明石書店]
〈編著者〉 静・書庫【372.389/KU33】
- ・数学的な思考力・表現力を鍛える授業 24
[明治図書出版]〈編著者〉 静・開架
【375.413/KU33】

◇澤田治美（元教員）

- ・オックスフォード英単語由来大辞典 [終風舎]
〈監訳〉 静・開架【832.033/053】
- ・現代意味解釈講義 続 [開拓社]〈著者〉 静・開架
【837.5/SA93/2】

◇杉崎哲子（教育学領域）

- ・チームで覚えて誤答が激減!小学校の全漢字 1006 字
の「書き」ラクラク覚え方辞典 [明治図書出版]
〈著者〉 静・開架【375.87/SU49】
- ・文字を書くのが苦手な子どものための「ひらがな・カタカナ」ラクラク支援ワーク [明治図書出版]〈著者〉
静・開架【378/SU49】

◇中本義彦（人文社会科学領域）

- ・歴史と戦略（中公文庫）[中央公論新社]〈解説〉
静・開架【391.3/N14/B】
- ・新編現代と戦略（中公文庫）[中央公論新社]〈解説〉
静・開架【391.3/N14/B】

◇服部義弘（名誉教授）

- ・形態論（朝倉日英対照言語学シリーズ 4）[朝倉書店]
〈監修〉 静・開架【801.09/A85/4】

◇堀博文（人文社会科学領域）

- ・静岡県静岡市千代田方言の記述研究 [静岡大学人文社会科学部言語文化学科]〈編著者〉 静・開架
【818.54/H87】

◇本多隆成（名誉教授）

- ・シルクロードに仏跡を訪ねて [吉川弘文館]〈著者〉
静・開架【292.09/H84】

◇牧証名（元教員）

- ・ふたつの憲法を生きる [花伝社]〈著者〉 静・開架
【372.1/MA34】

◇松田稔（名誉教授）

- ・測度・積分とバナッハ空間 [東京図書出版]〈著者〉
静・書庫【415.3/MA74】

◇三重野哲（理学領域）

- ・Syntheses and applications of carbon nanotubes and their composites [InTech]〈執筆著者〉 静・書庫
【435.6/SA87】
- ・Plasma science and technology [InTech]〈著者〉

静・書庫 【427.6/MI15】

◇森野聡子（情報学領域）

- ・アーサー王物語研究 [中央大学出版部] <執筆>
静・開架 【930.2/C66】

◇山下隆之（人文社会科学領域）

- ・地域経済分析ハンドブック [晃洋書房] <編著>
静・開架 【332.154/Y44】

●浜松分館受入

◇浅利一郎（人文社会科学領域）

- ・地域間産業連関分析の理論と実際（静岡大学人文社会科学部研究叢書 53）[日本評論社] <著>
浜・開架 【331.19/A88】

◇イノベーション社会連携推進機構

- ・「生きる」を考える [静岡大学イノベーション社会連携推進機構] <編> 浜・開架 【081/SH94/9】

◇大野旭（人文社会科学領域）

- ・中国文化大革命と国際社会 [静岡大学人文社会科学部・アジア研究センター] <編> 浜・開架
【222.077/Y72】
- ・反右派闘争から文化大革命へ（内モンゴル自治区の文化大革命 8）[風響社] <編> 浜・開架
【312.227/Y72/8】

◇岡本正芳（工学領域）

- ・数値計算による流体力学 [コロナ社] <著>
浜・開架 【423.8/042】

◇狩野謙一（防災総合センター）

- ・伊豆半島南部のジオガイド [山と溪谷社] <編著>
浜・開架 【453.8/KA58】

◇川井秀記（工学領域）

- ・光化学（エキスパート応用化学テキストシリーズ）[講談社] <著> 浜・開架 【431.5/N15】

◇静岡大学人文社会科学部社会学科文化人類学コース

- ・静岡市・由比（フィールドワーク実習調査報告書 平成27年度）[静岡大学人文社会科学部社会学科文化人類学コース] <編集> 浜・開架 【382.154/SH94/2015】

◇許山秀樹（情報学領域）

- ・中国語修辭学 [好文出版] <訳> 浜・開架 【826/011】

◇林弘文（名誉教授）

- ・安全神話が生きている国の浜岡原発についての交渉記録 [「浜岡原発についての交渉記録」編纂委員会] <編著> 浜・開架 【543.5/H25】

◇宮澤政文（元教員）

- ・宇宙ロケット工学入門 [朝倉書店] <著> 浜・開架
【538.93/MI89】

◇森野聡子（情報学領域）

- ・アーサー王物語研究 [中央大学出版部] <執筆>
浜・開架 【930.2/C66】

<図書館の動き>

・平成28年度第1回附属図書館委員会

<平成28年4月22日（金）>

○審議事項

1. 平成27年度第4回議事要旨について
2. 附属図書館関連委員会委員等の選出について

○報告事項

1. 第三期中期目標期間における附属図書館の年次計画について
2. 平成28年度事業計画について
3. 学術リポジトリの登録状況について
4. 熊本地震に対する支援対応について

・平成28年度第2回附属図書館委員会

<平成28年7月14日（木）>

○審議事項

1. 平成28年度第1回議事要旨について
2. 平成27年度附属図書館経費決算について
3. 平成28年度附属図書館経費予算について
4. 平成28年度学生用図書購入費の配分について
5. 図書の不用決定について
6. 「静岡大学附属図書館浜松分館閲覧の手続き等に関する細則」の一部改正について

○報告事項

1. 附属図書館利用状況について
2. 研究室貸出図書の点検について
3. 静岡大学学術リポジトリ（SURE）への登録について

・平成28年度第3回附属図書館委員会

<平成28年12月15日（木）>

○審議事項

1. 平成28年度第2回議事要旨について
2. 平成29年度附属図書館の開館日程について
3. 図書の不用決定について

○報告事項

1. 浜松分館の第二期工事について
2. 平成28年度図書館利用セミナーの実施について
3. 次期図書館業務用電子計算機システムについて
4. 静岡大学学術リポジトリ（SURE）システムの移行について
5. キャリア形成支援図書の推薦について

◆人事異動

平成28年3月31日付

溜淵文子 [副課長(分館担当)→定年退職]

平成28年4月1日付

渥美武 [副課長→電子情報係長兼務免]

江口敏一 [図書情報係長→副課長(分館担当)、分館資料係長兼務]

片瀬雅裕 [企画調整係長→教育学部附属静岡中学校事務係長]

中尾文子 [事務局付→企画調整係長]

松下昭重 [電子情報係主任→電子情報係長]

小野華子 [雑誌情報係主任→雑誌情報係長]

釜田香寿枝 [雑誌情報係長→利用サービス係長]

真中進 [利用サービス係長→図書情報係長]

中川恵理子 [筑波大学附属図書館情報管理課→雑誌情報係員]

平成28年8月1日付

鈴木ゆかり [分館資料係員→分館資料係主任]

平成28年10月1日付

鈴木ゆかり [分館資料係主任→調達管理課第三係主任]

平成28年11月1日付

水野華子 [分館資料係員(新規採用)]

＜図書館開館日程〔2017年4月～9月〕＞

	9:00～22:00		10:00～17:00
	10:00～19:00		9:00～17:00
	9:00～21:00		休館日

静岡本館

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

平成29年4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

浜松分館

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

平成29年4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第169号（平成29年3月29日発行）

発行所：静岡大学附属図書館

URL: <http://www.lib.shizuoka.ac.jp>

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL.054-238-4473 Fax.054-238-5408（再生紙使用）

